

山里に響くなつかしの子守唄

— 全国子守唄サミット&フェスタ, 09 in 天草 —



▲「福連木の子守唄」を歌う福連木子守唄保存会の皆さん（左写真）と福連木小学校児童（右写真）

「第21回全国子守唄サミット&フェスタ, 09 in 天草」が11月7日・翌8日、天草町の福連木子守唄公園を主会場に開催され、5,000人の来場客が訪れました。

これは、子守唄発祥の地である本市を含む全国7つの市や村（静岡県沼津市、和歌山県岩出市、岡山県井原市、長崎県島原市、大分県佐伯市、熊本県五木村）が毎年持ち回りで開催しているもの。平成13年に旧天草町で行って以来で、本市としては初の実施となります。

イベントでは、同町内のホテルで6市1村の代表が集まり『サミット』を開催。子守唄の保存・継承についての意見や情報交換を行ったほか、「子守唄を通じて、参加者のさらなる友好と愛あふれる地域文化の発展に努める」との共同声明を発表しました。

その後、同公園で行われた「フェスタ」では、特設ステージで子守唄コンサートを実施。着物に身を包んだ福連木小学校児童による「福連木の子守唄」をはじめ、全国各地の子守唄伝承者などによる歌が披露され、会場を訪れた観客は、郷愁を誘うメロディーとともに流れる心いやされる歌声に、熱心に聞き入っていました。

子守唄から地域づくり



福連木里づくり振興会
会長 平松和徳さん

心いやされる子守唄の調べが、優しく語りかけてくれる。この文化が、福連木にあることを誇りに感じています。

正調で子守唄を歌える人も少なくなり、後世にどうやって伝えていくか、地域全体で知恵を絞り「福連木に来ると心がいやされる」といった地域づくりができるよう、「子守唄の里」として努力していきたいと思っています。



▲見事な歌声を披露する子守唄伝承者の皆さん

受章おめでとうございます

～秋の褒章・叙勲、危険業務従事者叙勲～

危険業務従事者叙勲が10月10日、秋の褒章と叙勲が11月2日・翌3日にそれぞれ発表され、市内から8人が受章されました。おめでとうございます。

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の◎は褒章、◎は叙勲、◎は危険業務従事者叙勲。



田嶋 安さん
八幡町・69歳
◎藍綬褒章
自然公園指導員



川邊 恭二さん
久玉町・79歳
◎旭日小綬章
元牛深市議会議員



平山 松若さん
城下町・83歳
◎旭日小綬章
元本渡商工会議所会頭



蓑田 良司さん
港町・84歳
◎瑞宝双光章
元学校医



澤村 東洋さん
栖本町古江・64歳
◎瑞宝単光章
元栖本町消防団団長



松江 勝彌さん
天草町高浜南・66歳
◎瑞宝単光章
元天草町消防団団長



相川 浩一郎さん
五和町鬼池・64歳
◎瑞宝双光章
元海上保安官



荒木 利武さん
牛深町・70歳
◎瑞宝単光章
元天草消防組合消防司令長

陶磁器の島、多くの人出でにぎわう

～天草大陶磁器展～

県下最大級の陶磁器展「天草大陶磁器展」が10月31日から11月4日まで、天草市民センターを主会場に開催されました。

この陶磁器展では、天草島内をはじめ県内外から77の窯元や陶芸家などの作品約25,000点が展示・販売されたほか、「陶磁器の島AMAKUSA陶芸展」の表彰式を実施（結果は右下参照）。また、テレビ東京（熊本県では「テレビ熊本：TKU」）で放送中の「開運！なんでも鑑定団」の人気コーナー『出張！なんでも鑑定団』の公開収録が行われました（放送は、平成22年1月10日◎正午から予定）。

このほか、天草宝島国際交流会館ポルト・本渡中央銀天街周辺では、本市出身で原型師のハマハヤオ氏が手がけたフィギュア作品などを展示する「ハマハヤオフィギュア展」や、市内外の芸術家が空き店舗を使って個展などを開く「街中ギャラリー」を開催。期間中は、県内外から約3万人の人出でにぎわいました。



▲期間中、約3万人の陶芸ファンなどでにぎわいました ▲熱心に品定めをする来場者



▲「出張！なんでも鑑定団」の収録の様子

陶磁器の島AMAKUSA陶芸展結果（敬称略）

- グランプリ…高木健多（栄町）●準グランプリ…石井和洋（広島県福山市）●日比野克彦賞…金澤佑哉（北原町）●小川哲男賞…高島李恵（阿蘇郡南阿蘇村）●藤原恵洋賞…出口文教（熊本市）●鶴田一郎賞…熊高恵美（北原町）●鯉江良二賞…近藤聖子（愛知県新城市）●来場者賞…竹村智之（滋賀県大津市）